



富士幻想 (2018) 島野 保行さん (41A)

島野さんが発起人となって

和光大学同窓会作品展「おかがみ」再開へ向け、
実行委員会を立ち上げようとしています。

アートを見るのも作るものにかく

大好きなかと、一緒にやりましょう。

詳しくは P.9 をご覧ください。

contents

- 01 目次
会費、寄付納入者一覧
- 02 インタビュー
- 04 会員日より
俳句サロン
- 06 地方支部日より
- 08 会計報告
同窓会の活動
- 09 おかがみ展再開
- 10 大学日より
- 12 お知らせ
編集後記

ご協力ありがとうございました！ 会費・寄付入金者一覧 2023/9/1～2024/8/31

●会費 (40名) 荒井誠治 (53E) 荒木繁 (名誉教授) 池田晃将 (23W) 一ノ瀬 (小菅) 早百合 (現教員) 市村省二 (大学事務局長)
DE SILVA(伊藤) JUNKO (46H) 内山福子 (41H) 菊地純子 (53L) 工藤裕之 (93B) 小泉文乃 (24G) 小出正子 (42L) 齋藤祐輝 (23W)
坂下行人 (23W) 篠原春美 (45H) 下川功男 (47A) 白川幸治 (57L) 鈴木明男 (54L) 鈴木博成 (45E) 田中利明 (62H) 鶴島朋子 (55H)
長濱日子 (23G) 並木正 (63H) 久松新之丞 (22P) 藤田義治 (48E) 堀籠秀明 (20B) 増淵颯太 (22P) 馬島潤一 (54H)
松永 (三上) 由美子 (48A) 松本千都子 (46H) 松本松志 (46E) 溝口論 (91L) 三森翔矢 (24B) 山口孝 (47E) 山田隆 (42H) 吉田強栄 (56E)
吉野 (小椋) 誉子 (92H) 匿名希望 (48E) 匿名希望 (42H) 匿名希望 (48A)

●寄付 (27名) 荒木繁 (名誉教授) 岩川司 (46L) 大石永義 (44A) 大橋康男 (50L) 奥平康熙 (名誉教授) 小澤和典 (42E) 加藤七生子 (92H)
菊地純子 (53L) 川嶋芳男 (49E) 小出正子 (42L) 佐野俊郎 (45L) サンメール株式会社 鹿間麻理 (54H) 瀬川三枝子 (54H) 高橋亮 (00D)
高頭健治 (63E) 田中利明 (62H) 田畑博 (44E) 永野むつみ (43H) 萩原保夫 (44E) 平井勝 (55L) 平野未奈 (21B) 古川秀司 (54E)
馬島潤一 (54H) 村上佳正 (57E) 柳沢泰子 (54H) 山口孝 (47E) 匿名希望 (53L)

人形劇団ひぽぽたあむ

永野むつみさんインタビュー

永野むつみさん（43H） 2024年4月6日

私にぴったりの大学？

「高橋（旧姓）のためのような大学ができたぞ」高校の担任に声を掛けられ和光大学を知りました。推薦入学の面接で尊敬する人は？と問われ「サリバン先生」と答えました。

ありのままでもいい

間違えて、決められた入室日より1日早く学生寮に入りました。一期生の高田夏子さんが同室で、開口一番「銭湯に行ったような気持ちで暮らせばいいよ」と。親元を離れて見ず知らずの人と同じ部屋で暮らすのは初めての体験でしたから、私はとても緊張していたのでしよう。「気楽に気兼ねなく」ぶつさらばうな言い方の下に優しさを感じ胸が熱くなりました。

当時、自分では全く意識していなかったのですが、故郷山形の訛りが強かったようです。何度も聞き返されたり、戸惑ったり、気の毒そうな顔で見返されたり、急に優しくされたり、次第に言葉より



人形劇団ひぽぽたあむ
<https://hipopotaamu.com>



先に涙が出るようになっていました。さすがに鈍感な私も、どうも私の言葉は通じないと感じたところから、今でいうところの「引きこもり」になりかけていました。見るに見かねて同室者の高田さんが、ご自分が立ち上げた児童文化研究会に誘ってくれました。児文研の仲間たちは、「一度で全部言おうと思わないでいいんだよ。一度言っただけでも構わない」と思っていました。分かってもらえてないと思っただけでも二度言えばいい。それでもダメなら三度言えばいい」と助言し、「この言いたいもの？」と聞き返したりもしてくれ、辛抱強く付き合ってくれました。そうして私は「話すこと」からの恐怖感を取り除いてもらったのでした。当時の「無口なむつみさん」が、今や「口が6つあるのか」とからかわれるのはその時の後遺症ではないかと（笑）今思えば、訛っているよ、と指摘してくれば気づきは早かったのかもかもしれませんが、そういう言葉は誰からも聞いていません。関西訛りは「おや関西訛りだ

ね」と屈託なく指摘するのに、当時はまだ東北訛りは指摘しにくい風があったのかもしれない。56年も前のお話です。傷つけまいという優しさとも、「ありのままでもいい」という和光大学の校風が影響したともいえるでしょう。

児文研では子ども会活動に心惹かれました。私が育った町では町内会ごとに子ども会があり、大人の直接の指図なしに子どもたちだけで七夕会をやったり、神社掃除や夜回りをしていました。地域の祭りでも「子どもの役割」がありましたから、愉しかった体験と

もに活動のイメージがつかみやすかったのだと思います。

学ぶことは愉しい

大学の授業は予想を超えて興味深く、あげたらきりがありませんが、石原先生の心理学の授業は愉快でした。良い天気だからと戸外での授業になり、先生が問いかけました。「心はどこにありますか？」と。それぞれが答え、私の番になったとき、私は、右手を付き出し「これが出来事だとすると、（次に左手をつきだし）こっちが心。（両手をパチンと合わせ）」このパチンという音が私だとおもいます」と答えました。先生のお顔がぱっとほほえみ、それがとても嬉しく、大学というところは自分の言いたいことをなんでも言って良いところなんだと言いたいような解放感に包まれました。

人形劇との出会い

ゼミは池田貞夫先生のところで教育者マカレンコについて学びました。子どもは遊びと集団の中で育つというメッセージが、幼児期からの自分の体験と、現在進行形の児文研での体験とが相まって、納得できる世界観に出会ったような気がしました。学問へのアプローチも身近なところから始まること。何でもない日常の些細な事柄から学問・研究に発展できるのだということ。何事も縦（歴史）と横（社会状況・関係）で観ることが大事だ等々、モノの見方考え方に強い影響を受けました。

卒論についても、私が当時関心を持ち始めていた人形劇を取り上

げたらと助言してくださいましたのは池田先生でした。「論文にならなければ作品の上演でも構わない」と。ちようどその時にゼミの先輩でもあり、児文研の先輩でもあり、学生寮のルームメイトでもあった高田夏子さんから京都府の「わらんべ劇団」の取り組みのことを聞き、「いつでもどこでも誰にでもできる人形劇」というテーマでルポルターージュを書きました。蛭川虎三京都府知事が「京都の子どもたち」に人形劇を」という公約を実施し、さらには「自分たちも演りたい」という要求を育て、希望するとプロの人形劇人を公費で派遣するという前衛的な取り組み。

東京でもこうした取り組みを実現したい、とこの卒論をきっかけに、プーク人形劇アカデミー・町田市障がい者青年学級・通所施設ひかり療育園・人形劇団カラバス等々、たくさんのお出会いと学びの場を経て、人形劇と広い意味での社会教育の世界に足を突っ込むことになりました。そうして現在も道半ば。1988年創立した人形劇団ひぽぽたあむで、人形劇に関わる全ての仕事に邁進しています。続きは劇団HPで！



学びなおしの場 「夜間中学」

自主夜間中学「札幌遠友塾」でボランティア講師

いつでもどこでも学べる社会へと
 中学校夜間学級、いわゆる「夜間中学」
 が注目されています。十分な教育を
 受けることができなかつた人のため
 に、学びなおしの場が夜間中学です。
 近年は不登校や外国人の生徒が増え
 ています。

文部科学省では、各都道府県・指
 定都市に公立夜間中学を一校は設置
 するよう自治体に促進しています。
 公立夜間中学の設置数不足が大きな
 課題となっております。元文部科学
 事務次官の前川喜平氏は文科省時代
 から「国籍や年齢、貧富の差にとらわ
 れない夜間中学を全国にひろげよう」と
 自らボランティア講師を務めなが
 ら呼びかけています。北海道でも民
 間の夜間中学でボランティア講師を
 務めている元高校教員の同窓生52人
 阿部文雄さんが活躍していますので
 取材してみました。



ボランティア講師を務める阿部文雄さん(52)

「札幌遠友塾自主夜間中学」は今年
 で34年目を迎え、これまで500人以

上の生徒が学んできました。受講生は
 中国残留孤児やその家族、外国人労働者、
 不登校や引きこもりなど様々な人たちで
 す。授業は週一回水曜日の18時から21時
 まで国語、数学、社会、英語、特別授業
 の理科や音楽鑑賞の他、遠足や社会見学、
 クラス発表会などの行事も行っています。

国勢調査によると小学校を修了してい
 ない15歳以上の人は、北海道は大阪府に
 次いで2番目に多いようです。北海道の
 夜間中学は公立の札幌市立星友館中学が
 一校で、民間の自主夜間中学が札幌、旭
 川、釧路、函館の四校が開設されていま
 す。札幌遠友塾は現在、札幌市立向陵中
 学校の校舎を借りて授業を行っています
 す。現在の受講生は64人、スタッフ71人
 で活動しています。今年も10〜90代の新
 入生12人が加わりました。

4月17日、今年最初の授業に見学参加
 してみました。授業の前に「はじめの会」
 が行われ、スタッフと受講生全員が集合
 して伝達事項等の説明がありました。驚
 いたのは文書や教材には漢字やカタカナ
 にすべて平仮名(ルビ)が振られている
 ことです。読み書きから学ぶ人もいて
 「じっくりクラス」で対面授業が行われ
 ます。1〜3年生に分かれて授業。ボラ
 ンティア講師の他にスタッフが協力し
 合って資料配布等を行って授業が進めら
 れます。受講生の皆さん真剣に先生の話
 を聴きながら取り組んでいます。阿部さ
 んは「思っていた以上に皆さん熱心に
 授業を受けているので、教員時代よ
 り2〜3倍の時間をかけて資料の準備
 をしており、毎回緊張感を持って
 臨んでいます」と話されていました。
 スタッフの皆さんが、受講生をサポート

トしながら、玄関や教室を清掃した
 り椅子等の片づけを熱心にされてい
 ました。また個人協賛会員からの協
 賛金や企業から印刷費の支援を受け
 ていることを知りました。



札幌遠友塾の授業の様子

さまざまな理由で義務教育を受け
 ることができなかった(最近では小中学
 校を不登校のまま卒業認定される)
 人たちは沢山おられます。公立夜間中
 学が少ないだけに札幌遠友塾のよう
 な自主夜間中学の果たしている役割
 は大きいものと思われます。

(取材/北海道支部 田畑 博)

「54H梅原プロゼミ同窓会」

森永由佳 (54H)

54H梅原プロゼミは、1979年に
 32歳の若さで和光大学に着任された
 先生が、初めて担当された記念すべ
 きプロゼミです。同窓会を開くきっか
 けは、2019年にプロゼミ生3名が
 梅原先生と久々に会う機会があり近
 況報告をしていると「君たちが定年

退職を迎える2021年3月に同窓
 会を開こう」という先生からの言
 葉でした。しかし、この企画はコロナ
 禍によって断念しました。やがてコロ
 ナも落ち着き制限なく交流できるよ
 うになった2023年夏に、連絡の取
 りあえるプロゼミ生4人でZOOM
 会議を開き、2024年3月に開くこ
 とにいたしました。

同窓会の1部は、国分寺市の梅原
 先生の自宅マンションの集會室を
 借りして「私の人生の歩み報告会」、
 2部は近くの和食料理店「梅の花」で
 美味しい懐石料理とお酒で交流いた
 しました。参加者は梅原先生を含め
 7名でした。東京・神奈川・千葉そし
 てはるるる和歌山・高知から集まり
 ました。和歌山のHさんは、当日乗る
 予定の飛行機が視界不良で運航中止
 になり、急遽新幹線に変更して駆け
 つけてくれました。



梅原先生を囲んで交流会

1部の「私の人生の歩み報告会」で
 は、一人30分という限られた時間でし
 たが、大学卒業後の、人生の軌跡を
 語り合いました。一人ひとりの報告に

は重厚な経験や思いがあり、時間を
 忘れて聞き入ってしまった。また、
 意外と在学中に何をしていたか知ら
 ないことがあり、お互いの学生時代の
 様子を確かめあう場面もありました。
 梅原先生も「77年の人生を、日々『新
 陳代謝』して生きる」と題して、現在
 の多くの人の関わり合いの中でスト
 レスのない充実した活動的な生活を、
 60代の若輩者(?)の私たちに人生の
 師として示してくださいました。参加
 者は、いずれも60歳を過ぎ、第2、第
 3の人生を歩んでいます。その歩みも
 様々です。あらたな職に就き日々模索
 する者、これから国外に出て新天地で
 生活する者、社会的歴史的な課題を研
 究し活動を展開している者、現役で仕
 事しながら多忙な毎日を過ごしている
 者、いずれにしても、45年前の梅原プロ
 ゼミが縁で知り合った仲間とのよう
 な会を開き再会できたことは大変有
 意義な時間となりました。

会のあとも、参加者はグルー
 P LINEを使い情報交換をすること
 ができています。便利な時代となり
 ました。距離や時間に制限されず、メ
 ンバーからの情報や思いを知ること
 ができます。もちろん梅原先生から
 の四季折々の写真や社会問題に対す
 る問題提起もあります。

最後になりましたが、この会を開
 くにあたり、梅原先生には会場の予
 約や遠方から来る参加者に対しての
 お心遣いなど何から何まで大変お世
 話になりました。改めてお礼を申し
 上げますと同時にこれからも先生が
 健康で「好きなことができる」生活が
 続けられますようにお祈りいたしま
 す。そして2027年80歳の「梅原先
 生と慶ぶ会」でお会いできる日を楽
 しみにしております。

保育コース同窓会報告

清水 祥在 (14P)
しみず よしあき

2024年2月3日。保育専修立ち上げから活躍してこられた後藤紀子先生（のりちゃん）の最終講義が行われました。そして講義後に食堂で同窓会を行いました。専修の一期生である10Pから現在の在校生に至るまで幅広い年代が参加しました。

今回の同窓会ですが、23年の秋頃からののりちゃんの呼びかけの下に実行委員会が発足し、準備が進められていました。「次の世代にバトンを繋ぐ」そんな想いを根っこに計画されました。専修の皆さんはのりちゃんの人柄についてご存知かと思えます。熱心で暖かく行動力があり積極的に生徒に関わる、そんな姿が思い浮かぶのではないのでしょうか。

そんなお人柄もあり、率先して卒業生と連絡をとって授業と呼ぶなど、大学と保育の卒業生を繋ぐ役割を担っていました。そして、今回の同窓会は現役の保育の先生と卒業生と在校生とをこれから先も繋がりを育てるようにと計画されたのです。



後藤紀子先生／同窓会にて

同窓会の最後には、のりちゃん指導の下保育専修の多くの学年で歌い継がれてきた合唱曲「地球星歌」を全員で歌いました。見ず知らずの先輩後輩とも歌を通じて同窓であることを強く感じました。今後もこんなに素敵な輪が広がって欲しいです。

同窓会にて



太田素子先生／同窓会にて

公開ゼミ「教員としての

篠原睦治を語る」開催

榎本 達彦 (41H)

1973年から36年間、和光大学の人文学部教員を務められた篠原睦治さんが、2023年5月8日に永眠されました。

話が廻りますが、篠原さんご退職の前年のホームカミングデーで、研究室に集まった数人の元学生から、「大学ではなく、元学生主催の最終講義にしよう」という声が上がリ、独自の最終講義が行われました。これを機に、その後

10年間、篠原さんと元学生は毎年「公開ゼミ「障害」児・者問題討論」を開催しました。和光大学らしいエピソードではないかと思えます。

この度、篠原さんが亡くなった後に、ご葬儀に参加できなかった人たちから「みんなが集まって話す機会をもてないだろうか」という声が届きました。

私たちは篠原さんと関わる中で、篠原さんからそれぞれに学び・引き受けたことがあって、その後それぞれの仕事、生活、生き方に反映していることが多々あるのではないかと、それをそれぞれが、今いる体験を通して出し合う場になれないか、と考えました。

こうして立ち上がった実行委員会のメンバーは30代から70代までの多世代で構成、10か月にわたって話し合いを重ねました。

2024年3月9日（土）、和光大学H棟の教室に、約60名が集まりました。参加者は篠原さんのゼミ生、授業を受けた人、受けなかった人、和光大学教員、他大学の人、篠原さんの大学外での活動の関係者、篠原さんのご家族など。狭い教室は満杯になり、熱気に溢れていました。メールで意見を寄せてくれた人もいました。

第1部では元学生（70年代、90年代在籍者）3名と元同僚のロバート・リケットさん、小関和弘さん、堂前雅史さんにご発題いただき、第2部では参加者から自由に意見を述べてもらいました。時間の制約はありましたが、様々な世代や立場の人たちの話を聞く中で、篠原さんが伝えたかったことが重層的に語られ、多くの気づきを得る公開ゼミになりました。

ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた大学関係者の皆様に深く感謝します。ありがとうございました。

その2

里山de俳句サロン

サロン管理人 伊東 類



同窓会の俳句サロンへの投稿ありがとうございます。この稿は八月に書いていたのですが、連日の三十五度を越す猛暑に辟易しているところです。皆さんは熱中症大丈夫でしたか。このような猛暑も俳句をやる人にとってはこれも材料、暑さという敵しさをどの様に描くか、もちろんゲリラ豪雨とか台風とか被害をもたらす負の要因もありますが、五七五に纏める作業は我々に前向きなエネルギーを与えてくれます。

旧友と句点の無いおしゃべり
手帳から今年が消えて冷えた朝

加藤晴正

加藤さんからの二句。加藤さんは53A以外分かりませんが、そろそろリタイアの年代なのでしょう。

「旧友の句、古い友達とはいいもので、お会いして、あるいは電話などのお喋りは楽しいものです。□から出るのは思い出し、次から次へとあの時はこうだった。またあの人の人の近況や思いはとめどなく尽きることはありません。『句点のない』とはおそらくそういう事ではないのでしょうか。この一句から頼みみっばなしの加藤さんの笑顔が想像できますし、相手方の楽しいそんな穏やかな笑みもつかげます。

「手帳」の句、冷えた朝がちよっと寂しげな感じを抱かせますが、決してそうではないでしょう。この一年色々綴ってきた手帳も終わりに近づくとこの感慨がそのようなイメージを持たせるのであって、来たる新年への思いも隠れているようです。「冷えた」というよりは前向きな表現が欲しいかなという率直な感想で

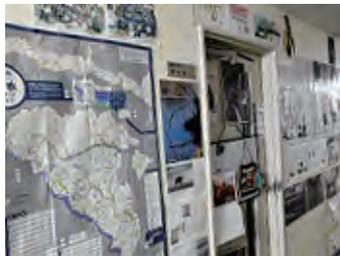
和光大学再訪記

滝川 康治 (47 H)

2月5日、1970年代半ばに中退した和光大学を15年ぶりで訪問。同窓会事務局長の柳沢泰子さんに学内を案内していただいた。

1966年、「小さな実験大学」を掲げ、東京都町田市に開学。初代学長はルソーの『エミール』の研究で著名な教育学者の梅根悟氏。大学に門はなく、昔から自由な校風が特色だった。

その梅根学長の記念図書館もあり、梅根邸から移植したという梅の花がほころぶ。



G棟



看板とグラウンドなど

事前の蔵書検索で拙著『幌延』（91年刊）が入っていると分かったので、のちに上梓した2冊を献本。私は中退組（同窓会会報第9号参照）なれど、「卒業生の図書コーナー」に置いてくれるそうぞうだ。

半世紀たった今では、立て看ひとつない普通の大学になったが、研究室や陶芸の窯、プレハブの部屋などに昔日の面影が残っていた。地域の人たちと環境保全活動を進めている部屋も。1年間ほど生活した学生寮は取り壊され、更地になっていた。

梅根学長は入学オリエンテーションで「自分のやりたいことが見つかり、途中で大学を辞める学生は大歓迎。そういう若者が続々出

てくることを、実は期待している」などと講話（偉い人だと思っ）。

「あなたは梅根さんの精神を実践して中退した、模範生だよ」と、昨日再会した学友。そう言われ、悪い気はしなかった。

（同日のフェイスブック投稿に加筆しました）



学生寮の跡など

「和光大学社会教育ゼミ／大橋謙策先生を囲む会」をおえて

佐藤 左和子 (53 H)

2024年6月9日、アルカディア市ヶ谷（私学会館）で、傘寿を迎えられた「大橋謙策先生を囲む会」が行われました。約40年ぶりに再会でしたが、すぐに学生当時の雰囲気を感じ、先生との濃密な時間をすごすことができました。

準備は、まずは連絡簿作成から始めました。わからない方も多く、29名に案内を送付し、当日は、青森、山形、新潟、広島などから17名の参加がありました。

大橋先生（当時、日本社会事業大学助教授。のち日本社会事業大学学長）は、1974年度から10年間、和光大学非常勤講師として、社会教育論とゼミを担当されました。ゼミの後には「飲みニケーション」と称して学内のコンパ室や、鶴川駅前居酒屋で集い、山中湖などで毎年ゼミ合宿もして、社会教育や私たちの未来を語り合っただけが思い出されます。

60歳すぎから70歳前後の元ゼミ生と、80歳に

なられてもお元気な大橋先生が、楽しく当時の事を懐かしんで、現在のお仕事についても語り合っ、とても充実した時間をすごせました。

先生にも「社会教育と地域福祉」と題して講演していただき、3時間はあっという間に過ぎいきました。

終了後、大橋先生からメッセージが届きました。

「長い間、集いをしなければと胸につかえていたものが取れました。みなさんの元気な様子を聞け、教師冥利、を味わいました」

そうおっしゃっていただいて、ゼミの卒業生としてこんなにうれしいことはありません。

【付記】「囲む会」開催の二週間前、5月25日。NHK『新プロジェクトX』「隠岐・島に希望を取り戻せ」が放送され、参加予定だったゼミ卒業生のひとり、町を再生していく重要なキーパーソンとして取り上げられました。（当日はご家族のご事情で、上京がかなわなかったのですが）、ゼミで学んだ「地域の主体形成」について、あらためてみんなで考えるきっかけになりました。



大橋先生を囲む会

す。プラス思考でしょう。

雲もなく風もなき日の蓮の花

はなのすきなうし

廻廊の風鈴と風鬼ごっこ

地球にも堪忍袋夏出水

もっお一方つしんからい

た。

この方は女性でしょうね。花の好きな牛かなです。蓮の花は大ぶり豪華な感じですが、花言葉は救い、休養で繊細です。一読しただけでは青空に風もない一日ですが、作者の穏やかに今日を過ごしたいという心情が大景の中に細やかに描かれているようです。それに引き換え「廻廊」の句は神社で鬼ごっこです。福岡現人神社や京都綾部の風鈴祭りは有名ですが、風鈴と風が鬼ごっこしているのでしょうか。風鈴の音に心和中で子ども達が鬼ごっこして大丈夫という一面もあります。

一方で「地球」ですね。先にも書きましたが、連日の三十五度では我々の堪忍袋も切れてしまいます。ここでは逆に地球自体が我慢に堪えられなく、出水を起こしているように読めます。環境破壊で人間に罰を与えているのかもしれない。発想の転換で地球から人間をみると地球だって憤懣やる方ないですよ。もし台風等で被害を受けた方々にはお見舞い申し上げます。個人的な句を拝見して、五七五という十七文字の世界ですが、表現される世界は広いです。挑戦してみてください。

管理人の近詠一句、

天空に蓋したら駄目夏の蝶 類
おほらかにご飯の国の薄暑光

みなさまの投稿をお待ちしています

今年も北海道支部交流会開催



北海道支部交流会 2024年7月13日 (14名参加)

昨年引き続き四回目の交流会を7月13日「釧路ふく亭」で行いました。北海道は広範囲なエリアですが、札幌圏を中心に日高管内、後志管内、空知管内からも参加し14名が集まりました。今回も2名の方が初めての参加。

現役の町長をはじめ、古書店主、紙間屋経営者、映像制作会社経営者、月刊誌編集長、ケーキンショップ経営者、教員等多彩な顔触れで学生時代にタイムスリップして昔話に花を咲かせたり、近況報告等で歓談しました。

今回は日頃活動している趣味の作品やコレクターの楽器を展示。46Eの森園彰仁さんはミニチュアハウスを展示。精巧なつくりとノスタルジックな情景に感銘しました。また48E馬越弘幸さんは大きな6本もついているドイツ製の「クロスベンダー」から「ミニハーモニカ」をはじめとしたハー

大学時代の思い出

●北海道支部 落合 顕治 (61E)



入学の頃を思い出すと、レベッカの「フレンズ」やハウンド・ドックの「ff(フォルティシモ)」の曲などが流れていたような、懐かしい気持ちになります。

推薦入試の面接の際、面接官に「将来はどんな仕事に就きたいか。」と聞かれ、「国際色豊かな航空会社に就職したい。」と答えたところ、一瞬面接官は沈黙した後、「無理とは言わないが、うちの大学からなら、かなり頑張らないと難しいよ。」と言いき、そういうレベルの大学なのだな、と思ったことが思い出されます。

最寄り駅である鶴川駅から大学へ向かう途中に、機動隊が乗った遊撃車が駐車しており、和光坂下にはヘルメットにサングラスをした不思議な人が立っていて、学生運動などのわずかな片鱗を垣間見ることができました。

部活動は吹奏楽部に入りました(打楽器パート)。とてもかわいらしい先輩に勧誘され、一緒に演奏できるなら幸せだ、と思い入部しました。それまではもちろん、吹奏楽はやったことがなく、楽器演奏などしたことがありませんでした。ですから、音符読みを一から教わり、四年間卒業まで続けました。この時に、上手なかつた分、練習を繰り返して頑張る姿勢を身に着けたと思います。勉強は全くしませんでした

卒業し、教職の道へ進み、三十年以上の月日がたち現在に至っております。単身で親類縁者

もないままに北海道に赴任しましたが、今となつては北海道生活の方が長くなり、すっかり道民になつております。

昨年(令和五年)、札幌にいる大学の同級生から北海道支部同窓会開催の話を受けてもらい、初めて出席させていただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。

少子化の中で、大学の生き残りも大変なご時世とは思いますが、今後も和光大学の発展を願うとともに、同窓の皆様とのご縁も大切にしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



勤務先での調理実習の様子(右はじ 落合さん)

教え子達に囲まれて

●北海道支部 平野 毅 (48L)



高校、大学、就職、それぞれ一年ずつ躓いて、25歳で中学校教員スタート。当時は組合運動

真つ盛りで、北教組の支部役員まで務めた。更に、日本を飛び出して3年間サウジアラビアの日本人学校で勤務した。そんな人間が教育長職を担っているという不条理。それも13年目に突入し、管内教育長部会の会長を担っているのだから笑ってしまう。

置戸が大好きで、置戸中学校勤務は一般職で9年、教頭で3年、校長で1年3か月で教員生活の4割を占めている。

教員としてスタートした年は教え子たちの前で幾度も幾度もとんでもない失敗を重ね、半年もたずに「先生」と呼ばれなくなり、おっちょこちょいの「ちよいさん」と呼ばれた。それゆえ、今は教え子達に職責を果たしているかどうかと監視されている。町長、副町長、課長等役場職員11名が教え子で勤務し、他にも中心となって町を牽引している教え子が少なくなく、助けられながら毎日を送っている。

私と妻の選歴には、40人以上の教え子が集まってくれた。ただ、妻の時の方が3名多かった事が未だに納得できないのだが、それは休みの日に我が家にとっと押掛けた教え子の遊び相手、そして相談に乗っていたからであろう。教え子たちにとって恩師は私ではなく妻のようだ。

妻の京子(旧姓菊池)は和光高校を卒業し、2歳年下であるが、共に48Lである。3年時に引越しのアルバイトをしたことがあり、その家の奥様の妹が京子だったという縁で今日に至っている。

京子は今、調停員で離婚調停を担当して10年目を迎えようとしている。当初、図書館から離婚に関する書籍を大量に借りたので、平野家危機が町中で囁かれた。

最近、生意気だった教え子達が優しい言葉をかけてくれるが増え、その度にもう71歳だということを実感する。同時に71歳になった今でも頼りにされ、仕事をさせていただいているこ

同窓会会員の活動は、このほかにも同窓会ホームページで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

モニカ18点を持ち寄りしました。「林檎の歌」など数曲演奏。郷愁溢れるハーモニカの音色にしばし酔いしれました。



森園さんの作品を鑑賞



馬越さんの演奏

九州の岩屋湊さんから逆情報の提供で所在が判明した43E佐久間英一さんが参加され、同窓生との初対面に大変喜ばれていました。時間を忘れるほど語り合い、楽しいひとときを過ごしました。二次会にも流れ、十八番の喉を披露し、和やかなカラオケとなりました。同窓会は、若い世代と女性の参加が課題としてありますが、「一次世代に紡ぐ会にしたいね」と先を見据えた良き仲間たちの集まりです。

地方支部立ち上げませんか？
詳しくはページ下部と裏表紙をご覧ください。

とに、さらには地域の方々にはほっこりと包まれた幸せ過ぎる毎日に感謝している。
私も京子も些些たる力ではあるが置戸町のためにと過ごしている。
そして教育長としての職責を果たす時、今もなお根底にあるのは和光教育である。



すくすくギフト事業

和光大学での思い出と現在

●九州支部 深江 貢 (46E)



鹿児島県始良市で生まれ、風光明媚で食べ物がとてもおいしい所で育ちました。
小学校では、ソフトボール。中学校では、柔道。高校では、何もなし生活。
を過ごしていました。

高校卒業後、アルバイト先で高校の時の担任の先生と偶然会って「面白い大学があるぞ行って見ないか」と勧められたのが、和光大学

でした。先生に「何が面白いのですか」と質問したら「学生の自治会活動を認めているし、体に障害のある人も一緒に教育を受けられ、個人個人を大切にしてくれて、学問も自由に選択できるカリキュラムになっているのだよ」と教えてくださいました。

さて、大学に入学して、田舎者の私には驚きの毎日でした。学生がヘルメットを被り鉄パイプを持っている姿、学食の二階で女子学生が喫煙している姿、和光高校の生徒が男女私服で寄り添って通学している様子を見て、何だこの学校は、不良学校かと思いましたが、半面ユニークな学校だと感じました。

暫く大学に通っている間に、自分が何の疑問もなく丸坊主で、黒の詰襟の学生服を着ていた頃が、滑稽に見えるようになりました。

「あっ」これが、和光で教えてもらった教育だと衝撃を受けました。

都会生活では、学友の杵沢君が東京での生活のノウハウを教えてくださいました。

「新宿は庶民の集まる所で、渋谷は洗練された民が来るのだ」とよく連れて行ってくれた場所です。初めの頃は、セールスマンが、しつこく近づいてきて困っていたら、「お前は田舎者だと直ぐ分かるのだよ。目を合わせただろう無視しろ」と小馬鹿にした感じで教えてくれました。今では、良い思い出になっています。

卒業後は、鹿児島の百貨店系のスパーマーケットで農産物の仕入れ、販売の仕事をしてい



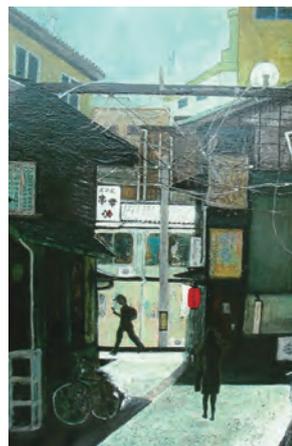
「梅雨の庭」

地方支部を立ち上げる 世話人募集中！

身近な地域で地方支部を立ち上げ同窓生の懇親会・交流会で楽しいつながりを持ちませんか？

同窓会が全面的にお手伝いします。
ご紹介した北海道支部、九州支部のほか山梨、高知で支部立ち上げの準備中。

お住まいの地域で卒業生と交流してみたい方は同窓会事務局 (dousoukai@wako.ac.jp) までご連絡ください。



「思い出横丁」 始良10号展 県美術協会賞受賞

ましたが、今はアルバイトで半日仕事をしてそれから趣味の絵を描いています。今年の初めに、ローカルの美術展で賞を頂き、充実した毎日を送っています。
このような人生があるのも、和光大学で、岡本喜裕先生をはじめ、四六E九組のみなさんと
の学生生活があったお陰と、感謝しています。

和光大学同窓会 2024 決算 & 2025 予算案

2023年9月1日～2024年8月31日 / 2024年9月1日～2025年8月31日

2025 年度事業計画

諸会議：オンラインツールを導入して、誰でも、どこからでも参加できるよう努めます。
会報：第12号を作成・発行します。

支部活動：現在立ち上がっている北海道・九州支部の活動を支援します。現在準備中の四国支部の立ち上げを支援します。
その他の地方支部の設立を応援します。

作品展「おかがみ」：大学主催ホームカミングデーの企画として開催するために、実行委員会を立ち上げて準備にとりかかります。

その他、同窓会HPの充実、在校生支援、等に取り組みます。

2024 年度活動報告

収入の部

項目	2024年度決算	2025年度予算	比較	備考
繰越金	861,570	452,261	△409309	
会費相当寄付金	1,027,000	1,000,000	△27000	
会費相当寄付金	653,000	980,000	327,000	2024：既卒者、現役生、現・旧教職員67名の納入。2025：既卒者、現役生、現・旧教職員50名の納入を見込む。
寄付	367,000	20,000	347,000	
その他	7,000	10,000	3,000	会報広告費等
雑収入	7,000	9,900	2,900	
利子など	0	100	100	
繰入金	0	0	0	
合計	1,888,570	1,462,261	△426309	

支出の部

項目	2024年度決算	2025年度予算	比較	備考
会議運営費	324,596	310,000	△14596	
総会	0	10,000	10,000	
幹事会	205,500	200,000	△5500	10回の開催予定として
評議員会	33,000	30,000	△3000	1回の開催予定
会場費	28,056	30,000	1,944	ZOOM利用料含む
手当・交通費	58,040	40,000	△18040	
事務局費	798,809	550,000	△248809	
消耗品	293,693	100,000	△193693	事務処理用各種事務用品
通信運搬	75,380	100,000	28,263	切手・はがき代など
HP経費	47,436	100,000	52,564	HP保守管理等
賃金	378,560	240,000	△138560	事務局アルバイト料
振り込み手数料	3,740	10,000	6,700	
事業費	312,904	385,000	72,096	
入卒業式	22,000	25,000	3,000	盛花など
研究助成	0	0	0	和光大学学生研究助成金
会報作成費	199,814	100,000	△99814	会報編集印刷・発送業務委託
印刷費	71,090	100,000	28,910	封筒・各種案内チラシなど
作品展運営繰り出し金	0	100,000	100,000	
地方支部用経費	20,000	50,000	30,000	5支部程度を見込む
教職支援講座費	0	10,000	10,000	
就職支援費	0	10,000	10,000	
学生対策事業費	0	10,000	10,000	
慶弔費	0	20,000	20,000	
予備費	0	187,261	187,261	
合計	1,436,309	1,462,261	25,952	

3 差引

項目	2024年度決算	2025年度予算	比較	備考
収入の部	1,888,570	1,462,261	△426309	
支出の部	1,436,309	1,462,261	25,952	
差引	452,261	0		

11月



久保田会長
和光学園創立90周年の集い

11月



第10回総会

第10回総会リモート参加者



11月

2024 新入生向け7月
同窓会案内



7月

入学祝い花



4月



2024 卒業祝賀パーティ 前田副会長

3月

4月



2024
入学祝い
掲示板

3月



2024 卒業祝い掲示板

和光大学同窓会作品展「おかがみ」再開にむけて 実行委員会へのお誘い



島野 保行
(41A)

卒業生の皆様、お元気にご活躍のことと思います。

和光大学で学び、働いた方なら誰でも、作品を出品できる、和光大学同窓会作品展「おかがみ」。6回の開催を経てコロナの流行によって集うことが制限され、開催できなくなって早くも4年たちました。

コロナウイルスの存在に留意しながら、「おかがみ」展を再開します。

同窓会はこの間大学と話し合い、「おかがみ」展を、隔年開催を予定している大学主催のホームカミングデーの企画とすることになりました。大学のスケジュールに組み込まれることで、会場や会期の問題が解決すると思われます。

大学は、2025年以降にホームカミングデーを予定していますので、2024年度中に、出展の呼びかけ等を担う実行委員会を組織したいと考えています。

そこで、皆様を、和光大学同窓会作品展「おかがみ」実行委員会へお誘いします。ぜひ、実行委員会に参加して、新旧の卒業生、現役生が作品を介して幅広く交流し、発見したり、前進したりできるような魅力的な「おかがみ」展を作りませんか？ 実行委員会は可能な限りオンラインで実施する予定ですので、地方在住の方も参加可能です。

我こそは！と思う方は

同窓会事務局 dousoukai@wako.ac.jp までご連絡ください。

和光大学同窓会作品展「おかがみ」展 再開準備委員会

島野 保行 (41A) 木寺 啓幸 (44A) 山梨 且二 (46A)

堀内 治彦 (49E) 前田 絵馬 (01G)

和光大学同窓会 会長 窪田美加

OKAGAMI.1 2014.11



OKAGAMI.2 2015.11



OKAGAMI.6 2019.11



OKAGAMI.5 2018.11



OKAGAMI.4 2017.11



OKAGAMI.3 2016.11



和光大学初代学長 梅根 悟の言葉②



「大学は自由な研究と学習の共同体でなければならない」
「小さな実験大学」

和光大学学長 半谷俊彦



私立大学は、建学の精神に基づいて教育を行うことに存在意義があります。私は学長として日常的にさまざまな判断を求められますが、判断をする際には、それが建学の精神に適ったものであるか繰り返し自問します。梅根悟先生は、初代学長として、和光大学の在り方についてさまざまな言葉を残しています。そのどれもが和光大学の建学の精神を表すものですから、一言一句、すべての言葉を大事に考えています。

その中でも、「大学は自由な研究と学習の共同体でなければならない」という言葉は、建学の精神の核をなすものです。梅根先生は、この言葉を述べるとき、「ユニバーシティ」の起源とされる12〜13世紀のポロニーヤ大学を念頭におかれていたようです。当時、イタリアのポロニーヤには、多くの学者と学生が集まっていて、学生は自分の聞きたいと思う学者の講義を聴き、聞くべき講義がなくなったから街を出ていったり職業についたりしていました。そこには入学という概念も卒業という概念もありません。もちろん現代の日本においてそのような形の大学が存立し得るわけは

ありませんから、教員と学生はそうした精神を持って学問に向かい合って欲しいということだと思います。進学率が5割を超え、大学の社会的役割が変わりつつありますが、そうした社会的状況であるからこそ、「自由に、自発的に学ぶ」という理念を大事にしていきたいと思っています。

建学の精神のもうひとつの柱が、「小さな実験大学」という言葉です。この言葉には、和光大学の教員は、自分自身の専門分野の研究を行うと同時に、大学教育のあり方についても常に研究し、改善を重ねて欲しいという思いが込められています。近年、大学には「内部質保証システム」を備えることが求められています。これは、定期的に自己点検を行い、教育の充実に向けて常に改善努力をするということを意味しています。近年のこうした動向は、まさに和光大学が掲げてきた理念を後追いするものです。和光大学は大学教育の先駆者として、「実験大学」であり続けたいと思います。

※半谷先生は、2024年11月から4年間の任期で和光大学学長に再任されました。

大学紹介や学生募集のためだけではなく、より多くの人に学問の面白さに触れてもらいたい！

「和光3分大学 ～学ぶおもしろさが見つかる50のお話～」

理工図書 刊/¥990

2008年から小田急線の車内に掲示してきたポスターを一冊にまとめた冊子を作りました。教員一人ひとりのユニークな研究内容に加えてその研究と社会との関わりについて「通勤通学合間」でもお楽しみいただけるようコンパクトにまとめ、好評をいただいております。—「はじめに」より一般書店、ネット書店で購入できます。ぜひお手に取ってお楽しみください。



小田急線路上広告の「和光3分大学」、もともとは学生募集目的の広告で、電車利用者が身近に感じられるテーマで学びとは何か、学ぶ意義、学ぶ面白さを伝えることがコンセプト。

和光大学にたくさんいる個性的で面白い先生とその学びを知ってもらいたいという思いも重なり社会と学びの接点を和光大学らしく考察しています。



喫茶店「黒鳥 (こくちょう)」
 喫茶店「西海岸 (にしかいがん)」
 居酒屋「鳥清 (とりきよ)」
 商店「赤荻酒店 (あかおぎさけてん)」
 阿部文雄さん (52L)



赤荻商店

「西海岸」は鶴川駅ビル2階で「パーラーさいとう」として営業していましたが、2024年8月で閉店。鶴川駅前の和光大学ポプリホール内ラウンジは娘さんが切り盛りしています。

焼き鳥「大将」
 焼き人をしていました。今も私の1年後輩が焼いています。
 澤本洋介さん (95H)

鶴川今昔 ②

通学していた頃の「鶴川駅」周辺情報！今回は同窓会評議員メンバーに聞いてみました。



居酒屋「大将」

鶴川駅周辺については、芸術学科はアトリエで飲む事が多かったので、何処かに行くより、大正橋近くの赤荻商店でお酒を買っていました。アトリエでお鍋をして、お酒が足りなくなると、男性が買いに行く役目でした。
 山梨あき子さん (63A)



大正橋バス停 (奥に赤荻商店)



※和光大学アクセスマップより引用

番外編

かじのや納豆：かつては工場のみでしたが、現在は併設の売店でできたての美味しい納豆が買えます！

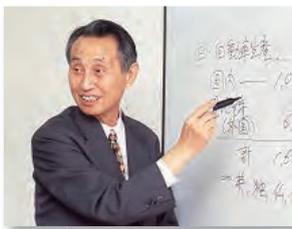
かじのや納豆



東和楼 (閉店)

亡くなられた先生方

さようなら 忘れません。ご冥福をお祈りいたします



桜井 清 名誉教授
 (89歳)
 2024年1月8日死去

松枝 到 名誉教授
 (70歳)
 2023年12月4日死去



定年退職された先生方

長い間ありがとうございました！いつまでもお元気で



担当科目 プロダクトデザイン

倉方 雅行 先生
 表現学部芸術学科



担当科目 社会政策

樋口 弘夫 先生
 経済経営学部経済学科



担当科目 宗教史学、神話学

松村 一男 先生
 表現学部総合文化学科



担当科目 音楽教育・表現

後藤 紀子 先生
 現代人間学部心理教育学科

同窓会は 和光でつながるために 活動しています。

2023年11月4日（土）第10回総会の日（44E 田畑博）



和光大学同窓会永年会費・寄付の納入のお願い

同窓会永年会費・寄付をお寄せいただいた方々には心から感謝申し上げます。会報の発行・発送費用、地方支部活動、在校生向けの活動など、同窓会の活動に必要な費用は、会報送付時に皆様が納めてくださる会費・寄付でまかなっております。同窓会の安定した活動のために、ご協力、ご支援をどうかよろしくお願いいたします。

会費を納入したのに、会費等納入者一覧に名前がないなど、会費について疑問がある場合は、恐れ入りますが、同窓会事務局 dousoukai@wako.ac.jp までお問合せください。

！！寄付のお願い！！

8pの収支報告でもわかるように、同窓会の財政は危機的状況になっています。会費の発行、「おかみ」展、支部活動などの同窓会の活動が続けられるように、一口（5000円）から、寄付をお寄せいただけるよう、お願いいたします。

- 和光大学同窓会永年会費（分割納入可）¥20,000
- 会費・寄付等振込先 ゆうちょ銀行

寄付、カンパ いつでも受け付けております。
00140-7-449809 和光大学同窓会

同窓会事務局より

住所・氏名等の変更、メッセージ、会報の送付希望等は下のQRコードよりお願いします。

和光大学同窓会評議員募集！

募集中

和光大学同窓会評議員会は年に一回、総会の前に同窓会の活動をチェックする会議です。同窓会への思いや、疑問、提案を気軽に伝えたり、問題提起できる場です。会議後の懇親会での交流も楽しみの一つです。

会議はオンライン方式を取り入れていますので、遠方の方も参加できますし、お近くの方は久しぶりに母校へ足を運ぶ機会にもなります。興味のある方は同窓会事務局（dousoukai@wako.ac.jp）までご連絡ください。

和光大学同窓会地方支部世話人募集！

募集中

同窓生のつながりで、親睦・交流をはかってみませんか？同窓会はそれぞれの地域での卒業生の交流が盛んになると良いなと思っています。身近なところで支部を立ち上げてみませんか？その世話人を募集します。

現在、2～3名の世話人で北海道支部、九州支部が立ち上がり、交流を深めています。山梨、高知で支部立ち上げの動きがあります。支部立ち上げに際しては、同窓会事務局をはじめ、支部立ち上げの経験者である各支部の世話人が全面的にバックアップします。

お住まいの地域で卒業生と交流してみたい方は同窓会事務局（dousoukai@wako.ac.jp）までご連絡ください。

和光大学同窓会会報を受け取っていないご友人がおられましたら、事務局までご連絡ください。会報をお送りします。

◇ 編集後記 ◇

お正月の団らんを襲った能登の地震、その傷跡が癒えないうちの豪雨被害。該当地域のにお住まいの方には心からお見舞いを申し上げます。

日本中で「危険な暑さ」、「熱中症」連呼の夏、そのさなかの日向灘地震と、南海トラフ地震注意報の発令。人間のやりたい放題に地球が悲鳴を上げています。

北海道支部の阿部文雄さん（52L）が関わっている「札幌遠友塾自主夜間中学」は新札に肖像が採用された新渡戸稲造が起こした塾が発祥だそうで、新渡戸稲造の教育への情熱が現代に引き継がれる様子がドキュメンタリー映画「新渡戸の夢」となって全国の小さな映画館で上映されています。同窓会HPでもご紹介しています。機会があったら、ぜひご覧下さい。

和光大学同窓会は10年を数え、コロナ禍を経て、財政が危機的状況になっており、会報の用紙も紙質を下げたなんとかページ数を維持しています。また郵送料節約を兼ねて、今回は、大学の郵送物に同封をさせてもらい、発送しました。

アメリカと大企業を向いた政府の経済政策は格差を増大させ、どちら様も厳しい状況だとは思いますが、ぜひ一口5000円のご寄付をお寄せいただけると嬉しいです。

柳沢 泰子（54H）

和光大学同窓会事務局

〒195-8585 町田市金井ヶ丘5丁目1番1号
和光大学内 和光同窓会事務局
Tel & Fax : 044-949-0008
Email dousoukai@wako.ac.jp
開室日/月曜日午前11時～午後3時

同窓会HP <https://wako-daigaku-dousoukai.info/>
和光大学HP : <http://www.wako.ac.jp/>



通信・メッセージ
はこちらへ



会報送付（送付先
変更・送付停止等）
はこちらへ